

円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会 第10回協議会 議事要旨

日 時：令和6年5月20日（月）13：30～15：00

場 所：豊岡市立交流センター 豊岡稽古堂3階 交流室

参加者

豊岡市 技監	鶴野 聡（代理）	他2名
兵庫県但馬県民局 総務企画室 総務企画室長	遠池 良逸	他1名
兵庫県但馬県民局 豊岡土木事務所 事務所長	田中 秀典	他2名
気象庁 神戸地方気象台 防災管理官	竹田 進（代理）	他2名
西日本旅客鉄道株式会社 兵庫支社 地域共生課員	菖池 美沙（代理）	
Willer Trains 株式会社 安全監査室長	増井 克至（代理）	他1名
全但バス株式会社 安全推進・リスク管理室長	古橋 竜哉（代理）	他1名
近畿地方整備局 豊岡河川国道事務所 事務所長	荒谷 芳博	他3名

議事内容

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 議 題

- 1) 円山川大規模氾濫に関する減災対策協議会 幹事会の報告
- 2) 円山川の減災に係る取り組み方針に基づいた報告
- 3) 各機関からの連絡事項

4. 意見交換

【神戸地方気象台】

- ・令和6年度に実施する防災気象情報の改善について

【豊岡河川国道事務所】

- ・令和5年度台風第7号出水
- ・令和6年能登半島地震
- ・ワンコイン浸水センサ

5. 閉 会

主な意見交換内容

- 出水時の Web 会議の開催時期について（事務局）
- 平成 16 年台風第 23 号から 20 年目について（事務局）
- 今後 15 年間のスケジュールについて（事務局）
- 災害対策用機械の派遣について

【兵庫県 豊岡土木事務所】

災害対策用機械の派遣はどこに依頼したらよいか。

【豊岡河川国道事務所】

近畿地方整備局との調整や直轄区間の被災状況により災害対策用機械の派遣可否が決まる。派遣を要望する場合は、まず豊岡河川国道事務所まで連絡してほしい。

各機関からの感想

【豊岡市】

平成 16 年災害から 20 年を迎える。その間に大きな災害は発生しなかったが、備えることが大切だと思っている。天災は忘れたころにやってくるとも言うので、常に災害を意識して防災・減災に係る取り組みを進めていくことが重要だと考える。

【兵庫県但馬県民局 総務企画室】

来年は北丹大震災から 100 年を迎えるが、平成 16 年台風第 23 号も踏まえて、兵庫県としては防災について力を入れてきた。県民・地域住民も防災について大きな関心を持っているので、減災対策協議会を通じて関係機関と協力して取り組みを進めていきたい。

【兵庫県但馬県民局 豊岡土木事務所】

神戸地方気象台からの気象に関する情報提供について、大変ありがたく感じる。特に、兵庫県域に限定して詳しく解説していただいているので大変参考になっている。

【気象庁 神戸地方気象台】

神戸地方気象台では、気象災害ということで洪水に限らず地震も含めて普及・啓発活動に取り組んでいる。そのため、来年度も今年度と同様に取り組みを進めていきたい。また、平成 16 年台風第 23 号から 20 年の節目を迎えるが、当時、出先機関の豊岡測候所も被災した。防災の集いについては、気象台の立場として、また、被災者側の立場としても協力していきたい。

【西日本旅客鉄道株式会社 兵庫支社】

今年度に引き続き、鉄道管理者として対策できる取り組みを進めていきたい。

【Willer Trains 株式会社】

水害だけでなく、当社の宮津線では山間部の路線も多く、雪害、動物死傷など多くの自然災害を受ける。そのため気象情報が大変役に立っている。引き続き情報提供をお願いしたい。

【全但バス株式会社】

平成 16 年台風第 23 号を経験したが、当時から対策等が進捗したかというところはまだ不足しているところがある。今後も、関係機関のご指導・ご鞭撻をお願いしたい。

【豊岡河川国道事務所】

本協議会では各機関からの報告を共有して次に向けて成長していきたいと考えている。また、本日は各機関から代表者に参加いただいているので、本日共有した内容を持ち帰り、有事の際に迅速な対応が取れるような体制づくりをお願いしたい。

意見交換において、有事の Web 会議の取り扱いについて事務局から説明したが、出水時のみならず、雪の際にも Web 会議は繋いだままにして、通行止め等に関する情報共有を即応できる体制を構築したので、今後実践していきたいと考えている。

今年は平成 16 年台風第 23 号から 20 年を迎える節目の年であるため、事務局でパネルディスカッションを企画している。住民の災害に対する記憶を風化させずに、防災意識の向上を図るためにも、各機関の皆様にはパネリストや当時被害を受けた災害の語り部の推薦をお願いしたい。